



オートカンパニー自動車販売店計画

新車、中古車を販売する店舗と自動車の修理工場を併設する計画である。

計画地は秋田県羽後町の県道57号沿いにあり、周辺には商業施設、高校、そして田が広がる。

特に要望されたことは、外観的な特徴を持つこと、来店した人々がゆったりと滞在できることである。要求される空間と機能が、その用途をよりよく表現するシンプルな形態、そして形象を獲得するまでスタディを繰り返し、3つ目の案によって、施主と意図の共有ができた。

道路沿いに車の展示スペース、その背後に「車の持つスピード感」を想起させる形態を配置し、車と建築が一体となり、「自動車販売店」の様相を呈している。県道から施設に直接アプローチする道に入ると「自動車販売店」の様相は一転、来店する人々を招き入れる空間となる。弧を描いた壁沿いに人々は店舗に招き入れられ、その先に各々の時間を過ごせる空間が設えられている。事務スペース、修理スペースとは分断された静かな店舗空間は、近所や地域の人々が気軽に飲食や読書、世間話ができる場であってほしいという施主の思いが込められている。また、道路からのアイキャッチとなる赤のペイントはこの店のイメージカラーであり、施主自ら思いを込めて行なったものである。

顧客のニーズや流行は刻々と移り変わるが、それに答えながらも迎合するのみではなく、確固たる「個」として社会との接点を見出す施主との対話は、建築をつくるうえで創造性を刺激するものだった。

